

いよいよ冬眠準備が 始まります!!



深呼吸したくなる街

秋号!!

エコみつけ

ここはエコのど真ん中

発行・編集
見附市 市民生活課
〒954-8686
新潟県見附市昭和町2丁目1番1号
Tel: 0258-62-1700
Fax: 0258-62-7062
E-mail: shiminseikatsu@city.mitsuke.niigata.jp



見附のイメージキャラクター ミッケ

山林等で作業する皆様へ

身近な里山でもクマとの不意の遭遇に注意を払いましょう。入山前の爆竹や作業中にラジオを鳴らす等、人の存在を知らせましょう。絶えず周囲の様子に気を配ってください。クマの生息地に頻繁に入る方は、クマ撃退スプレーの携帯も検討してください。

クマの出没しにくい環境づくりを心がけましょう!!

秋の味覚(キノコや果物など)を楽しんでいますか?
山で生活している動物達も、いよいよ冬眠の準備に入ります。

昨年は、山中でのエサ不足や暖冬のため、私たちの生活圏にまでクマやイノシシの出没が相次いでいました。(現在も引き続き目撃されています。)

そこで、今号ではクマやイノシシなど出会ったとき、生活圏に引き寄せないための注意点をご紹介します。

クマに出会わないためには?

● 出没情報に注意しましょう

あらかじめ入山する地域の目撃情報を確認し、クマのいるところには近づかないことが大切です。県・市町村のホームページを確認してください。

● クマの痕跡に気をつけましょう

山中などで、糞や足跡などの痕跡をみつけたら、その場を早々に立ち去りましょう。

● 自分達の存在を知らせましょう

極力複数で行動し、鈴やラジオなどを鳴らすなどして、自分たちの存在をアピールしてください。風や雨、川の音などで伝わりにくい場合もあります。過信は禁物です!!

● 早朝、夕方は特に気をつけましょう

朝・夕の薄暗い時間帯は、クマの活動が活発です。極力この時間帯を避けて行動してください。昼間でも活動している場合がありますので、日中でも周囲への気配りが必要です。



山は野生動物の^{すみか}住処です。
周囲に気をつけながら、ハイキングやキャンプなどを楽しみましょう♪



クマを引き寄せないためには?

● 生ごみ等の誘引物は適切に処理しましょう

クマが出没する原因は、**餌**の存在です。生ごみ、農作物や果実は人家の周りや農地に放置しないで適切に処理をしましょう。また、**柿などの果実類は早期に収穫**してください。

● ごみは持ち帰りましょう

人間の食べ物または、その臭いなどに馴れさせてはいけません。キャンプや登山などで出たごみは、持ち帰りましょう。そして、よく目に着くのが**道路や空き地にポイ捨てされた、お弁当の容器や食べ残し**です。クマを引き寄せる大変危険な行為です。絶対にやめましょう!!



クマに出会ってしまったら？

●興奮しない!!させない!!ようにしましょう

遠くにいる場合は、そっと静かに立ち去りましょう。近くにいる場合は、急に大声を出したり、物を投げたりすると、クマが興奮して危険です。



⚠️ 大声を出さない!! ⚠️ 走らない!! ⚠️ 物を投げない!!

●そっと後ずさりしながらその場を離れましょう
クマは逃げるものを追う習性があります。100mを9秒で走るなど、力ではかきません。まずは、落ち着いて騒がず、走らず、ゆっくり後退してください。



●子連れのクマに注意しましょう

子グマを見ても、決して近づいてはいけません。母グマがいると考えられ、大変危険です。絶対に近寄らないでください。



●クマが襲ってきたら
「死んだふり」は効果がありません。ダメージを最小限とするため、**地面にふせ両手で頭部や首など急所をしっかりガード**し、クマの攻撃をしのぐ方法が有効です。

※うつ伏せになり、両手で首の後ろをガードしてください。



●集落や市街地にクマが出没したら
周辺の住民にも知らせ、近づかないよう安全確保をしてから、クマの出没を警察署、市役所に連絡してください。

★見附警察署：0258-63-0110

★見附市役所：0258-62-1700



イノシシに出会ってしまったら？

●落ち着いて行動しましょう

クマと同様に静かに、その場を離れましょう。急に走り出してイノシシを興奮させないようにしましょう。後ろを向くと襲ってくることもあるので、なるべく**背中をみせず、ゆっくり後退**しましょう。



●攻撃や威嚇をしない

棒を振り上げたり、石を投げたりしてイノシシを挑発するのは大変危険です。絶対にしないでください。イノシシが逆上して向かってくることもあります。



⚠️ 石や物を投げない!! ⚠️ カサや棒などを振りまわさない!!

●うり坊を見かけても近寄らないように
うり坊（イノシシの子）を見かけても近寄らないようにしてください。**近くに母イノシシがいる可能性**があります。近づいたり追いかけたりしないでください。カワイイからといって、食べ物を与えないでください。人への警戒心を低下させ、人が食べ物の供給源だと学習させることに繋がります。

エサをあげないで、※ひんぱんに町へ出没するようになります。



●どうしても接近を避けられない場合は？

イノシシと出会ったらその場を離れるのが一番ですが、人間がいる方向にイノシシの逃げ場所が限られる場合など、接近してくる場合があります。接近が避けられない時は、イノシシに逃げ道を明け渡しつつ、安全な場所に緊急避難しましょう。

安全な場所とは、イノシシから人間が見えない場所やイノシシが簡単に登れない場所（高所→木など）に登るのも有効な方法です。

身の安全が確保できたら、クマ同様に警察署および市役所に連絡しましょう。

おねがい

本来、野生動物は人間と距離をとって生活をしています。近づいたり、いたずらしないように注意しましょう!!